

報 告 書

(沖田 班)

開 催 日 時	令和元年 5 月 13 日 (月) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	(金城) みどりかいかん	
出 席 議 員	川神 裕司 議長、牛尾 昭、道下 文男、芦谷 英夫、 串崎 利行、柳楽 真智子、沖田 真治	
	司会者	沖田 真治
	予算報告者	沖田 真治
	ファシリテーター	牛尾 昭、串崎 利行、柳楽 真智子
	記録者	道下 文男、芦谷 英夫
参 加 人 数	33 人	
主な要望・提言等	<p>テーマ 1 (地域リーダーの育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員が同じ顔触れとなり、引っ張って行く人材が不足している。5～10 年先の地域リーダーを育成する。 ・若い人が参加できる雰囲気をつくる。地域の人と一緒に なってリーダーを育成する。 ・リーダー育成研修を行って欲しい、行政が指導力を発揮 してほしい。 ・若い人は仕事があり忙しいが、地域に関われる若い人を 発掘する。できる人をみんなで探す。 ・U I ターン者を活用することを考える。いろいろな体験、 活躍の機会に参加してもらおうこと。楽しいこと面白いこ とを伝える。 ・アイデアを持っているU I ターン者、若い人が参加でき る雰囲気をつくる。 ・U I ターン者が地域になじもうとしており、地域でそれ をしっかり受け入れたい。 ・若い人を巻き込む、若い人に入ってほしい、誰が育成す るのかの課題がある。 ・県立大学があっても地元若い人が帰ってこない、課題 である、市が頑張る必要がある。 	

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足と若い人の働く場がないという矛盾があり、市の仕事である。 ・進める人、かじ取りする人がいればよいが、固く考えると誰もしなくなる。いろいろな人が支える、みんな一緒につくらないとやっていけない。 ・人を育てる、仕組みをつくることが、リーダーとしてやるべき仕事である。 ・町内会の話し合い、常会の内容を充実する、町内会長の意識を高め、課題解決や組織化を考える。 ・投票立会人は毎回同じ人が就く。若い人、女性がすることで、行政参加を促してはどうか。 ・若い人に役を持ってもらい、順番に役を持ってもらう。 ・地域リーダーの育成ではなく、発掘であり育成では遅い。退職者より若い現職を充てる。 ・市職員の若い人、20代職員が地域とかかわり、リーダーの姿を学んでもらう。 ・地域のいろいろな役を一本化して、仕事を担っていく人を確保する。
	<p>テーマ2（高齢者の移動手段の確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40名免許返納者があり、年15,000円では少ない、病院通いが大変である。 ・行きはよい良い、帰りは重たいとなっている。これを解決する必要がある。 ・バス停までの足の確保が必要である。ディサービスのついでに買い物サービスができないか。 ・商店がなくなる、まんてんの移動販売を周辺まで波及させてほしい。 ・生活タクシーは、ぐるっと回るなので、効率が悪く、都合が悪いときもある。白タク、有料などでできないか。 ・電動車の補助金制度、市がリースを行うことができないか。

主な要望・提言等

- ・時間、時間で走る定期の足を確保してほしい。
- ・車が家まで入れない。
- ・地域での交通は事故が心配である。コンビニ、移動販売車を定期的に月水金など運行できないか。
- ・タクシーを地域住民が共同利用する、業者を利用する方法を考える。
- ・タクシー路線、1週間に1回は必ず回る仕組みをつくってほしい。
- ・集落としての結びつきを持ち、一人暮らしの人の支援体制を構築し、経済的支援を行政が行う、買い物などの代行などを行う。
- ・地域の人が代行できる移動システム、白タク事業で認めていただき、移動が助かる、白タクも必要である。
- ・地域町内ごとに移動車両を確保し、独居高齢者のために移動販売を確保する。
- ・利用者も負担し、タクシー事業が利用できる環境をつくる。
- ・電動車の補助、助成金制度、地域交通対策の経費を確保する。
- ・今までどおり定期的にお出かけバスを走らせる。
- ・ディサービスの送迎者が使いやすくする、買い物に寄ってくれる。
- ・主要道のバス停まで出る手段を確保してほしい、電動四輪のリースなども必要である。
- ・金城から浜田の病院とゆめタウンなどを結ぶ、バス路線を整備してほしい。
- ・タクシー券を半額にしていきたい。
- ・バス停まで行けない、デマンドバスが家の前で乗降できると良い。
- ・在宅医療の充実と移動販売により、移動しなくてもよい環境にできないか。

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の利便性より、免許の返納など安全性を最優先する世の中にしてほしい。 ・家から家へ行く交通の確保をしてほしい。 ・お出かけバスに乗っている人がいない、便が悪い、バス停まで行けない。 ・辺地で交通の便が悪く、免許を返すのは難しい、電動カー助成、デマンドタクシー、100円タクシーなどやってほしい。 ・高齢者の移動手段の確保、病院通い、買い物などがあり、移動販売車も必要である。
	<p>【その他要望・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開府400年事業について (お宝鑑定団、浜田さんいらっしやい事業) ・豊かな森づくり推進事業について ・高齢者・障がい者予算、地域リーダー育成予算の概要について ・しまねお魚センターの買取りについて ・行政相談員制度について (道路の白線を引くことについて要望)

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 5 月 21 日

浜田市議会報告会規程第9条第1項の規定により提出します。

沖田 班

代表者 沖 田 真 治